## 支援を必要としている高校生に寄り添い 社会的自立を促す居場所が 高校生の身近に増えることが重要です

**【生徒に働きかけるうえで大切にしたい姿勢】**

- 思いを表出しやすい安心できる雰囲気を作る
- 大人として関わり、生徒の思いや考えを尊重する
- 語られる言葉に…

  じっくりと耳を傾けて聴く

  共感的に理解し、受容する
- 生徒の語りにペースを合わせる
- 良いところを見つける
- 言葉のやり取りだけでなく、

  非言語的コミュニケーションも意識する

  座る位置、表情、体の向き、

  視線や相づち、声の大きさなど
- 何気ない言葉や動作を見逃さず、

  背景にある思いまで考えをめぐらせる

支援を必要としている生徒は、
自己肯定感が低くなっている場合が多くあります。
本人が自分を見つめ、
生き方を模索できるように、
居場所があるだけでなく、
働きかける人が一人ひとりを認める姿勢を持つことが、
よりよい支援につながっていくと考えます。

## ～ 教育相談 Q&A ～

**K-roomではどんなことをするのですか？**

何をするかは自分で決めることができます。
例えば
・進路（大学・専門学校・仕事など）について調べる
・学習課題を持ってきて取り組む
・レポート課題に取り組む
・興味があることなどについて同世代と話す
など、一人で悩まずに、周りの人と話したり、一緒に調べたり、考えたりすることができます。

**K-roomは、なぜできたのですか？**

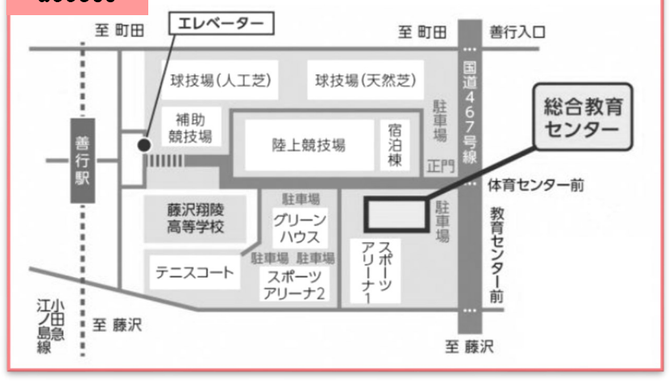
不登校の高校生が社会的自立に向けて、主体的・選択的な活動を通して、自己理解を深め、他者を受容し、自らの進路に何らかの見通しを立てていくことを目指していく機会や経験を提供するために始まりました。

**K-room以外に相談方法はありますか？**

K-roomの他にも、来所相談、電話相談、SNS相談、Eメール相談などがあります。

| 神奈川県立総合教育センター　相談 | 検索 |
|---|---|

**access**　※小田急江ノ島線善行駅から徒歩８分




【発行・問合せ】
神奈川県立総合教育センター　教育相談課
TEL: 0466-81-8521

新たな教育相談のかたち

# K-room

『K-room』は
大人や同世代との関わりを
通して、じっくり自分と向き合い
これからについて考える
ことで、社会的自立に
向けた第一歩に
つながる場所

令和5年3月　神奈川県立総合教育センター
「不登校の高校生の社会的自立を促す取組の研究」より

# K-room Model

社会的自立に向けた第一歩

K-room

## 相談前

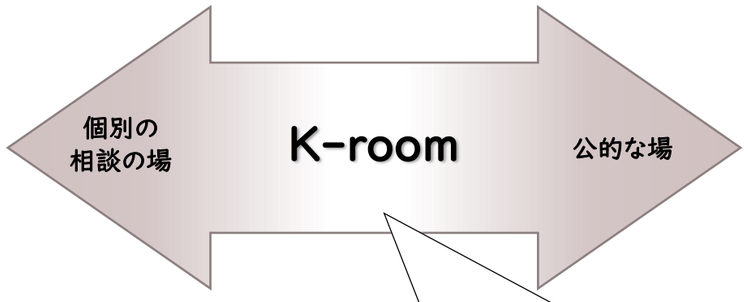
### 【あなたの学校にはこんな生徒たちはいませんか？】

- 休みが多くなってきている
- 対人緊張が強そう
- コミュニケーションへの不安がみられる
- 自分にあった進路がなかなか決まらない
- 勉強の仕方に悩んでいるようである

K-roomでの取組が動き出す
きっかけになるかもしれません

### 【K-roomってどんな場所？】

**個別の相談の場よりも社会性が求められ**
**公的な場よりは守られた環境でチャレンジできる場所**




集団、社会参加に向けた準備や経験の蓄積が
必要な方を対象とする

（※ 利用にあたっては、当センターでの教育相談を
利用している高校生相当の方を対象としています）

## K-roomでの取組

### 【取組のポイントは？】

#### ① 主体性を大切にしています

開室カレンダーを見て → 何日に、何時から何時まで利用するか
自分の予定を確認して → 何をどのくらい取り組むか
K-room内の様子を見て → どこに座るか、誰に話しかけるか

社会的自立に向けて、
自分で主体的・選択的に取り組む経験を
重ねられるように促す

#### ② 教育相談を通して一人ひとりの理解を深め、それに基づいて接しています

その相談者の視点に立って理解し、
非言語的な相談者の表現も敏感にキャッチ

→ スタッフ間で相談者に関して、密な情報共有を行い、
相談者の様子や見立てに合った声掛けの仕方、
活動の中での寄り添い方、スタッフの立ち位置を工夫する

一人ひとりの特性や変化にあった対応を重視する

#### ③ 同世代との交流の場を設けています

同世代との交流に不安がある相談者たち
→ “自由に”話す難しさ

スタッフがファシリテーター
（人と人をつなげ、相互作用を促進させる役割）となり、
“皆で話す時間”（＝セッション）をつくる

自分の考えを伝える体験
相手の話を聴く体験
相手に自分のことを受け入れてもらえる体験

安心して参加できる環境をつくり、
同世代との交流の経験を増やす

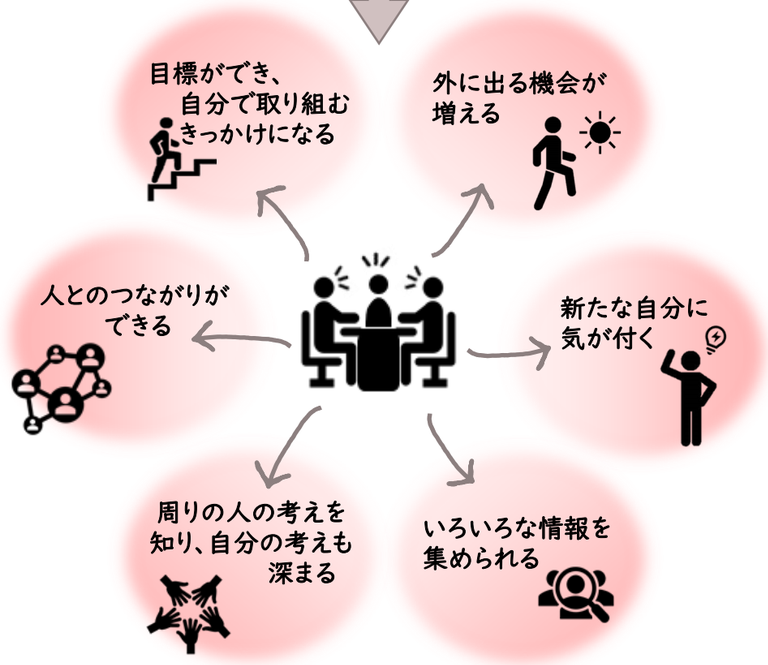
## 相談者の変化

### 【相談者にどんな変化があった？】

**K-room 内での具体的な変化**

- 個別スペースでの活動が中心
  → いつでも交流できる共有スペースでの活動が増加
- 受け身的でリードされる側
  → 自分から他者へ話しかけるなど、リードする側へ
  → 相談者同士のコミュニケーションの増加　など

他者を意識し、自発的な関わりへ




K-room内から社会へ

**K-room 以外の場での変化**

- 一人で電車に乗る機会が増えて、行動範囲が広がった
- 自分で計画を立て、自主学習する習慣がついた
- 高卒認定に合格し、大学受験を目指している
- アルバイトの面接を受け、社会への一歩を踏み出した
- 周りの人と交流する機会が増えた　など